

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者:村上

会議名: 第3回 C 農業を元気にするプロジェクト推進会議

日時: 平成 27年 11月 10日(火) 午後7時30分～9時35分

場所: 中洲会館 2階 大ホール

出席者: 山本、杉田、林浩、林清、津田、本城、樋上、岩井、西村、佐藤

出席者(行政): 坪内、高山、嶋本、井上、館長、会館主事

使用資料: 次第

議題

- ・ビッグレイク等の具体的な活用について
- ・その他
- ・次回の会議について

会議要旨

内容

○意見

- ・なぜ農業は儲からないのか…初期投資が高い。売値が低い。
しかし、工夫をして利益を得ている生産者もいる。
(例 生協とタイアップ、伝統野菜の復活 等)

<行政>

- ・(例)地産地消の推進(中洲小の学校給食で中洲産の野菜を調理し、児童に食育)
守山の伝統野菜の栽培
休耕田を再利用した体験・レンタル畑
→食育は良いアイデア。子どもたちに「中洲の野菜は美味しかった」と将来的にも思ってもらえる。
でも中洲の特産品は何か?(例 インゲン豆)
- ・中洲の農産物の宣伝…「中洲の窓」に募集コーナーを掲載
学区内に野菜の販売所(無人)の設置とPR の二つはどうか。
⇒販売所の管理が大変。売れ残りの問題。(おうみんちでの売れ残りは
町内で配りまわっている)
・服部の「あまのじゃく」で3～4ヶ月前から毎週土曜日に朝市を開催。
販売数は少ない。売れ残ったものは業者がまとめて大阪へ移送して
くれるが、自分たちでする場合はルートの確保が大変。
・玉津学区では野菜の販売所を開設。

○ビッグレイク等の具体的な活用について

- ・試食会…中洲の農産物の良さを知ってもらうため、試食会を開催する。
試食会の内容は芋煮。
野洲川健康ファミリーマラソン(3/6)、クリテリウム大会(3/13)のイベントに模擬店として
出店し、模擬店の横に芋煮に使った野菜の販売所を設ける。
※自治会のイベント等で、婦人会等が調理に携わるが、負担が大きい。

決定事項

野洲川健康ファミリーマラソンとクリテリウム大会での模擬店出店に向けて、
まるごとのメンバーで芋煮の試食会を行なう。

次回以降に
ついて

芋煮試食会の開催。

・次回は1月14日(木)17:00～ さづかわ交流センター“にじいろ”

会議要旨

内容